

希望の船

We love BIWAKO

「みずうみに学んで世界の明日をひらく人」

滋賀県立びわ湖フローティングスクール

〒520-0047 大津市浜大津5丁目1番7号

<https://uminoko.jp/>

全102航海無事終了！

【所長 安江利光】

2月20日、守山市立小津小学校、野洲市立篠原小学校の第102回児童学習航海終了後、両校の子どもたちと先生方にご参加いただき、「湖の子」終航式を行いました。式には、学習船「うみのこ」船長、食堂料理長、県教育委員会事務局幼小中教育課長にもご臨席いただきました。まずは、全102航海を無事終えることができましたこと、ご協力いただいた関係機関や学校、ご家庭、運航に携わってくださった多くの皆様方に厚くお礼を申し上げます。

今年度は、4年ぶりの1泊2日の児童学習航海を

実施できました。台風の接近やインフルエンザ感染防止で中止した航海が3航海ありましたが、すべて、予備日に1泊2日で実施できました。また、年末からは琵琶湖の濁水が続き、水位がマイナス79cmまでになりました。長浜港が利用できなくなるなど、入港できる港が制限されましたが、各学校がウォークラリーの下見を再度、別の港で行うなど柔軟に対応してくださり、子どもたちが十分に満足できた航海になったと感じています。暑さ指数上昇による、寄港地活動の変更は7航海ありました。日中のウォークラリーは中止し、朝の港散策に変更するなど、こちらも臨機応変に対応できましたが、夏の暑さ対策は、今後の大きな課題と考えています。久しぶりの泊を伴った航海ですので、学校への助言のあり方や児童の確実な安全対策など課題も見えてきました。しかし、まったく面識のなかった他校の友だちと、次第に心を許し仲良くなって子どもたちの姿を見ると、子どもたちの人生の中で、非常に濃密で有意義で重要な2日間なのではないかと思わせてくれました。

さて、フローティングスクールでは子どもたちの学習のさらなる充実を目指して、毎年「研究航海」を学校の協力をいただきながら実施しています。今年度までの3か年の研究では、フローティングスクール乗船前の学習や、乗船した後の学習を乗船時の学習としっかりつなげることが、子どもたちの「深い学び」と

なることがわかりました。次年度から、新しい研究3か年を計画しています。この計画では、子どもたち一人ひとりの切実な疑問や関心に目を向け、それがそのまま学習となるような単元構成を立てています。学習カードや学習コンテンツもすでにホームページで公開しています。学習事例として紹介することで、どの学校でも簡単にフローティングスクール学習が充実し、子どもたちの学びがより一層深まることを期待します。

